

池工日誌

授業風景



◎授業風景

2学年電気情報専攻の『英語コミュニケーションⅡ』では、ALTの Julian Picazo 先生による授業が行われました。従来全く同じものとして誤解されがちな未来形の『will』と『be going to』の使い分け、微妙なニュアンスの違いについて実例を紹介しながら説明がされました。熱心に耳を傾けていた生徒たちの間からは「なるほど」と納得する声が上がりました。その後、ペアを組んで週末に何をするか英語でパートナーとやり取りをしました。終始和やかな雰囲気の中、英語で自分の考えや気持ちを伝え合っていました。



will と be going to の違いを
説明する Julian 先生



ペアでやりとりをする
生徒たち